

## 今週の為替相場見通し(2017年11月13日)

総括表		先週の値動き			今週の予想レンジ
		注	レンジ	終値	
米ドル	(円)		113.09 ~ 114.73	113.54	112.00 ~ 115.00
ユーロ	(ドル)		1.1553 ~ 1.1678	1.1666	1.1500 ~ 1.1700
(1ユーロ=)	(円)		131.40 ~ 133.12	132.41	131.00 ~ 133.50
英ポンド	(ドル)		1.3059 ~ 1.3229	1.3191	1.3050 ~ 1.3250
(1英ポンド=)	(円)	*	148.45 ~ 150.33	149.79	148.50 ~ 150.50
豪ドル	(ドル)		0.7628 ~ 0.7701	0.7659	0.7500 ~ 0.7800
(1豪ドル=)	(円)	*	86.79 ~ 87.70	86.97	85.00 ~ 89.00

(データ)先週の値動きに関して、注の欄で無印の項目はみずほ銀行、\*印の項目はブルームバーグ。

### 1. 米ドル

為替市場第一チーム 和地 淳史

(1)今週の予想レンジ: 112.00 ~ 115.00 円

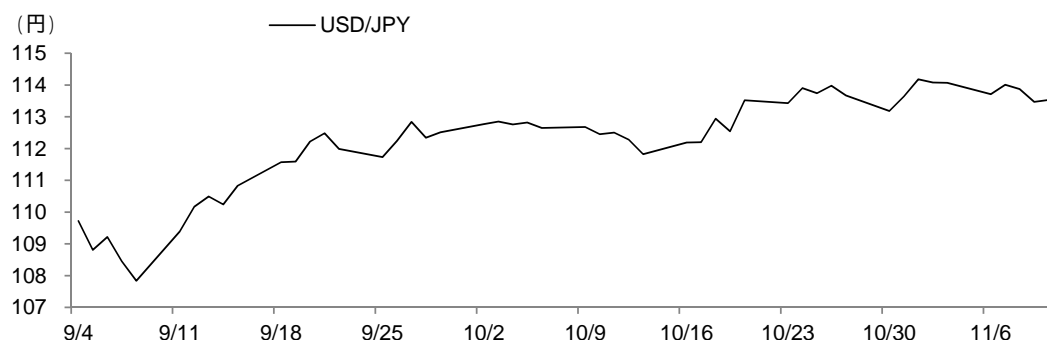
(2)ポイント【先週の回顧と今週の見通し】

先週のドル/円相場は、上値重い展開となった。週初6日に114円近辺でオープンしたドル/円は、株価上昇を受けて買い優勢となり、節目とみられていた114円台半ばを上抜けると週高値の114.73円まで急伸。しかし、買い一巡後は急速に売り戻され、米金利低下も相俟って114円近辺まで反落。その後もじり安の展開が続く、113円台後半まで押し戻された。7日は日経平均株価がバブル崩壊後の高値を更新する中、ドル/円も114円前半まで反発。その後はトランプ米大統領が訪韓中に必要であれば北朝鮮に対する軍事力行使を辞さないと言ったことが嫌気されたことなどから、113円台後半まで反落。8日も米上院共和党が法人税減税の1年先送りを検討との報を受けて上値重い展開が続いた。欧州各国の株価も軒並み軟化する中、米州知事選挙で共和党候補が敗北したことを受けて税制改革の実現性に疑念が高まる展開となると、113円台前半まで下げ幅を拡大。その後は米株とともに113円台後半まで反発し、9日には株価の堅調推移を背景に114円前半を回復する場面も見られた。しかし、株価が堅調な展開から一転、急落となると、ドル/円も再び113円台前半まで連れ安に。さらに米共和党上院案が下院案と大きく異なるとの報を背景に税制改革への不透明感が高まり、週安値となる113.09円まで値を下げた。ただし、共和党上院案が正式に発表された後は113円台前半を回復。10日は株価も底堅く推移し、米11月ミシガン大学消費者マインドへの反応も限定的となり、113.54円で越過となった。

今週のドル/円相場は、底堅い展開を予想。先週は米税制改革に関する報に上下する動きが見られたものの、基本的には材料難で値動きは限定的となっている状況。下値では株価の堅調な動きを背景に押し目買いの動きにサポートされる一方、上値では短期勢・オプション勢の利食いや海外投資家等の売りが強まっている。今週も、引き続き米税制改革についての材料に注目。ただし、米下院での採決が今週に予定されているが、既に2019年まで先送りされている減税への期待感は大きくはなく、上院と下院でのすり合わせが続く展開となったとしても売る向きは限定的か。なお、経済指標では、米国の物価関連指標や15日(水)の米10月小売売上高には注目しておきたいものの、ハリケーンによる影響が続いている中では材料としにくい。また、FRB要人発言も予定されているが次期FRB議長が決まった後であることを考えるとやはり反応はしにくい。先週に若干のポジション調整をこなした後であることを鑑みれば、基本的には直近レンジの中で底堅い動きとなる。

(3)先週までの相場の推移

先週(11/6~11/10)の値動き: 安値 113.09 円 高値 114.73 円 終値 113.54 円



お客さま各位

ここではレポートの一部をご紹介します。  
しています。

レポート全ページをご希望の方は、  
お取引いただいているみずほ銀行の  
お取扱店、またはお取引担当部まで  
お問い合わせください。

以上